



新宿区

暮らしやすさも賑わいも
一番の自治のまち「新宿」

平成27年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成27年2月18日(水)

事業名	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み	予算(案)の概要	46・70 75・131 153	ページ
予算額	176,849千円 (新規・拡充) (前年度予算額 0千円)			
取材先	1 地域文化部 文化観光課長 橋本 (電話 03-5273-3807) 2 教育委員会事務局 中央図書館長 藤牧 (電話 03-3364-1421) 3① 地域文化部 文化観光課長 橋本 (電話 03-5273-3807) 3③ 教育委員会事務局 教育指導課長 横溝 (電話 03-5273-3075) 3②④ 地域文化部 生涯学習コミュニティ課長 山本 (電話 03-5273-3108)			

- 外国人等の来街者向け無料Wi-Fiの整備促進
- オリンピック・パラリンピック資料の収集と発信
- スポーツ振興・文化観光施策の推進のための環境づくり

1 外国人等の来街者向け無料Wi-Fiの整備促進(予算額1,000千円)

国際観光都市・新宿としてのブランド力の向上

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催という好機を捉え、文化・観光、都市基盤整備などの施策を総合的に推進します。

◆ 昨年の訪日外国人旅行者数は、1,340万人を超え、過去最多を記録しました。

◆ 最新の東京都の調査によると、外国人旅行者が「一番期待していた場所」、「実際に訪問した場所」とも新宿・大久保がトップでした。

◆ 訪日外国人旅行者が旅行中に困ったことで、最も多かったことは「無料Wi-Fi環境」で、36.7%(観光庁の調査)でした。

無料Wi-Fiの環境調査

新宿区では、外国人旅行者等の来街者の利便性や区内各地への回遊性を向上させるため、無料Wi-Fiの整備が必要との認識の下、整備を効果的・効率的に進めていくために必要な基礎調査を行います。

■ 予算額 1,000千円
■ 調査エリア 新宿駅周辺地域

2 オリンピック・パラリンピック資料の収集と発信(予算額629千円)

メインスタジアムの国立競技場のある地元としての資料収集

開会式等が行われるメインスタジアムの新国立競技場の地元の図書館として、オリンピック・パラリンピックについて、これまでの大会の歴史・文化・影響に関する資料や2020年大会について扱った資料、また前回の東京大会と新宿区の関わりを扱った資料など総合的に収集、整備します。

図書館資料展示で情報発信を行い、大会成功への気運を醸成

オリンピック・パラリンピック関連の図書館資料は常設展示し、誰もが利用することのできる図書館の強みを活かして、に展示のディスプレイ等も工夫します。世界中からの選手、来客者を迎える地元として、積極的にアピールし、区民をはじめとする図書館利用者へオリンピック・パラリンピックへの理解と期待感を深めていただき、大会成功への気運の醸成を行います。

3 スポーツ振興・文化観光施策の推進のための環境づくり(予算額175,220千円)

①新宿駅東南口高架下整備～にぎわい空間の創出～(予算額 46,000千円(再掲))

新宿駅東南口高架下に観光案内所・イベントスペース等を整備し、文化・観光情報の発信拠点とします。

②スポーツ体験支援(新宿スポーツ環境推進プロジェクト)(予算額 3,300千円)

協働事業提案制度を活用し、区全域の子どもに対しスポーツ体験の機会を提供するとともに、2020年オリンピック・パラリンピックの選手世代となる子ども達の持つ可能性を最大限に拓ける機会を創出します。

③オリンピック・パラリンピック教育推進校事業(予算額 3,000千円)

オリンピック・パラリンピック教育推進校を指定し、学校教育の一環としてオリンピック・パラリンピックに関する学習や、運動への興味・関心を高める取組みを実施し、大会開催に向けての気運醸成事業を実施します。

④スポーツ環境の整備(予算額 122,920千円)

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、新宿スポーツセンターの大規模改修工事を実施。一部施設のリニューアルを行うことにより、区民により安全・安心で快適にスポーツに親しむ機会を提供します。